学校番号	T1206

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「言語文化」　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「言語文化」は、現代文の小説と古典（古文・漢文）を主に扱う科目です。日本語で表現された文章を通して、日本語のもつ奥深さと日本文化の素晴らしさに気付いて欲しいと思います。また、古典は新しく学ぶ学習内容がたくさんあります。途中で投げ出すことなく、繰り返し復習しながら知識を身につけていきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を身につける。
(2)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めることができる。
(3)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が 国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が 国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	筆者の考えを読み取る ［教材］ 『世界を見わたす窓』	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで日本の感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や動物を用いた表現を整理しようとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議
	古文の仮名遣いや、古文に特有の言い回しに慣れる ［教材］ 『宇治拾遺物語』 「田舎の児、桜の散るを見て泣くこと」	a：古典の世界に親しむために、必要な文語の決まりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで音読して古典の世界に親しみ、古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議
	漢文訓読のきまりを理解する ［教材］ 『論語』 「十有五にして学に志す」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで漢文の特色や訓読の決まりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議
	場面ごとの人物の心情の変化を読み取る ［教材］ 『羅生門』	a：語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：進んで登場人物の心情変化を読み取り、主題について考えようとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議
後期	自分の感じたことを言葉にする ［教材］ 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』	a：本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現技法とその効果について理解している。 b[書]：自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して表現したいことを明確にしている。 c：進んで和歌における表現の特色を理解し、自分の考えたことや伝えたいことを効果的に表現しようとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議
	自分の考えたことを言葉にする ［教材］ 『戦国策』 「蛇足」	a：古典の世界に親しむために、必要な文語の決まりや古典特有の表現などについて理解している。 b[書]：故事成語から学んでいることが伝わるよう、文章の種類、展開、文体など表現の仕方を工夫している。 c：進んで言葉の選び方や表現の仕方を工夫し、漢文の魅力が伝わるように書こうとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議

	作品の表現に着目しながら読む ［教材］ 『夢十夜』	a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文章の中で使っている b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、展開する独自の世界を味わおうとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議
	歌に込められた思いを理解する ［教材］ 『伊勢物語』 「芥川」	a:古典の世界に親しむために、必要な文語の決まりや古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、各章段に描かれた内容や和歌に込められた心情を的確に捉えようとしている。	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	ワークシートの記述 レポート・課題・発表 定期考査	学習状況の観察 レポート・課題・発表・グループ討議

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　５　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間